

千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉会派「千翔会」幹事長

水野ゆうき

ゆう
Can Change!

2018年

県議会・活動報告 vol.29

水野ゆうきは
県政・議会・議員の見える化を
推奨しています。

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 twitter @yuukitten

6月定例千葉県議会において水野ゆうきは一般質問に登壇し、①減災対策 ②東京2020に向けた県の取り組み ③湖沼の環境保全 ④青少年インターネット被害防止対策 ⑤電話de詐欺被害防止対策 ⑥がんの終末期医療 の6つの大項目について質問と要望を行いました。



減災対策について

～千葉県の備蓄状況(大量廃棄問題)と女性目線の備蓄～

【千葉県の備蓄状況】

千葉県は県内市町村等の備蓄のバックアップ体制として**食料45万8550食、要援護者に対しては8万5700食、水ペットボトル48万608本等**を松戸市にある西部防災センター、県内9箇所の防災備蓄倉庫、民間倉庫、10市町村の倉庫に備蓄しています。また、女性特有の備蓄品に関しては生理用品約6万6千枚、紙おむつ約3万2千枚などを備蓄。粉ミルクなど使用期限が短いものについては流通企業と協定を締結。

＜水野ゆうきの主張！＞ 東日本大震災や熊本地震の影響で被害想定を幅広く見直したことから、都道府県の備蓄量は6年間でほぼ倍増しており、賞味期限が近づいた食料は更新しなければならず、備蓄食料や飲料水の大量廃棄が全国的に問題となっている。千葉県においても消費しきれない恐れがあるため今後、防災関連イベントに限らずあらゆる機会に、防災啓発の観点から県民に配布するなどさらなる有効活用を！

女性目線の備蓄～乳児用液体ミルク～

＜水野ゆうきの主張！＞ 避難所生活では、乳児を連れた母親や妊婦、生理中の女性などに対して、紙おむつや粉ミルク、哺乳瓶、生理用品など女性視点の備蓄は非常に大切。実際に大規模災害の被災地では、女性用備蓄品が不備などの課題が残った。また、国内での製造・販売が現時点で認められていない**乳児用液体ミルク**（フィンランド製品）が支援物資として大変役立ち、日本でも製造・販売が解禁

される見通したが、実際の製造までに1年以上はかかる想定から、東京都では流通大手企業と協定を結び、災害時に緊急輸入し供給することに。千葉県においても積極的な取り組みを求めています。

～県内の避難所等の防災拠点公衆無線LAN整備 3割台と判明！～

国では、防災等に資するWi-Fi環境の整備を着実に実施することで、災害時の必要な情報伝達手段を確保することを定めているが、水野ゆうきの質問により、**県内の市町村庁舎や避難所等の防災拠点 1,678 箇所のうち、公衆無線 LAN 環境が整備されているのは 594 箇所**にとどまっていること（平成29年10月現在）が判明！県では引き続き国に対し財政支援の拡充を要望するとともに補助対象とならない市町村に対して県の地域防災力向上総合支援補助金の活用を働きかけ、避難所等の公衆無線 LAN 環境の整備を促進していくことに！

～千葉県の防災拠点となる庁舎の耐震化状況は未だ76%～

千葉県の防災拠点となる庁舎の耐震化状況は76%、全国都道府県88.9%と比較して低く、47都道府県中37位という不名誉な状況。県の防災拠点となる庁舎の耐震化率は**81.1%で、対象となる95棟のうち、18棟の耐震化が未完了**（平成29年度末現在）。今後は「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、未完了18棟のうち15棟の建て替え等を行うとともに、残る3棟についても対応方針の検討を進めていきます！

～水野ゆうき、東日本大震災の被災地へ～

千葉県議会地震・津波対策議員連盟の超党派有志議員は東日本大震災の被災地である岩手県久慈市、宮古市田老地区、山田町、大槌町、釜石市そして陸前高田市へ。



近年災害は大規模化、多様化しています。千葉県としても減災対策に力を入れることが重要であり、県民一人一人の防災意識の向上のために、水野ゆうきは防災・減災対策に全力で取り組んでいます。

水野ゆうきの「東京2020」に向けた取り組み実績



我孫子市立新木小学校のフェンシング学校訪問

①我孫子市にて日本フェンシング協会学校訪問事業を実現！

千葉県では東京オリンピック・パラリンピックにおいて8競技が開催されることが決定しています。特に**昨年は日本フェンシング協会・太田雄貴会長とともに水野ゆうきが森田知事に千葉県内におけるフェンシングの普及啓発活動を提案し、すぐに日本フェンシング協会による学校訪問が実現！**

今年度は我孫子市の久寺家中学校及び新木小学校に太田会長とフェンシング日本代表選手にお越しいただき、フェンシングを初めて生で見る児童生徒に夢と希望と感動を与えてくれる事業と実感！

②オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定校、倍以上を実現！

水野ゆうきは2月予算委員会において、2020年に我が国でオリンピック・パラリンピックが開催されるこの絶好の時代に生きる一人でも多くの子供たちに実際に世界で活躍するアスリートに触れ合う機会を**公平に増やしてもらいたい**という願いから**千葉県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の拡充を要望**。県は昨年度の**30校から65校に拡大！**

※我孫子市立久寺家中学校がオリンピック・パラリンピック教育推進校に指定！

湖沼の環境保全について

～今なお増殖が続いている手賀沼南東に広がるハス群落～

ハス群落は1965年に1.5畝だったものが、平成29年8月の調査では約16倍の23.6畝まで拡大しており、枯れたハスが沼の底にたい積することによって沼が浅くなることや手賀沼本来の植生、生態系などに影響を及ぼすことが懸念されています。県では昨年度に試験的に実施した刈り取りでの課題等を踏まえ、今年度はより効果的な刈り取り方法や成育抑制手法の検証を行うとともに、ハス群落内における水質の状況や、刈り取りによる水質への影響について把握し、対応検討へ。

～手賀沼で確認されている特定外来生物の対策～

手賀沼では特定外来生物のナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ対策が急務です！特にオオバナミズキンバイは他の種を圧倒して短時間で成長し、光をさえぎってナガエツルノゲイトウさえ枯らしてしまっただけでなく、水から離れて陸でも生息、繁茂するため、水田耕作地への侵入が懸念されています。



手賀沼に広がるオオバナミズキンバイ (県民提供による写真)

県では昨年度、手賀沼における水生植物の繁茂状況について調査を行い、分布範囲の実態を把握。本年4月に「手賀沼水循環回復行動計画」を改定し、新たな「行動メニュー」として「特定外来生物への対応」を追加。またこの計画に基づき、手賀沼水環境保全協議会などの場を活用し、情報共有を行いながら、流域住民や行政等が連携して駆除の取り組みへ！

～オオバナミズキンバイ等の処分方法の明確化を！～

オオバナミズキンバイは手賀沼各地で定着初期を越えて大きく繁茂域を拡大させており、継続したこまめな駆除活動が大切です。しかし特定外来生物の処分については、外来生物法により持ち運びなどに関して様々な規制があり、善意で駆除をしたつもりでも思いもよらず法律に抵触してしまい高額な罰金などが発生する可能性があります。このことが防除を妨げているという指摘が報告されていることから、**特定外来生物の処分方法について一定の方法を明確化し、周知していくことが非常に重要です。**

<水野ゆうきの要望！> 特定外来生物に関して地域住民や各団体が情報と知識を共有できているとは言い難い状況。特定外来生物に特化した組織設置や協議会等と住民団体が処分方法の周知含め、定期的な意見交換を行える場を設けていただきたい。

青少年インターネット被害防止対策について

千葉県ではネット監視員2名を配置し、県内原則すべての中学校、義務教育学校、高校、特別支援学校等、約630校を対象に生徒が行っている SNS などについて監視を行う青少年インターネット被害防止対策事業（ネットパトロール）を実施。なお、平成29年度に「問題のある書き込み」を行った生徒数は**4,812人**、「特に問題があり削除等の指導対象となる書き込み」を行った生徒数は**490人（661件）**で**中学生が約2割、高校生が約8割**。

<水野ゆうきの主張！> 発信側に対しては、配慮ある発信表現の徹底に加え、誹謗中傷を書かれてしまった側に対しても措置することが重要。また、問題のある書き込みの防止などの情報モラルについて、教員研修の実施、各学校の講習会への講師派遣、保護者への啓発等の取り組みを強化し、高校生にとって身近で深刻な問題である「ネットいじめ」の撲滅を！

電話de詐欺被害防止対策について

～「電話de詐欺は 電話de対策」の周知と促進を！～

《「電話de詐欺は 電話de対策」の具体的内容》

- 自宅の固定電話機を留守番電話設定にしておくだけでも効果有
 - 通話録音機能導入
 - 警察などの情報をもとに迷惑電話を自動的に判別してブロックする迷惑電話対策サービスの導入
- このような固定電話機対策を着実に浸透させていくことが電話de詐欺の被害に遭いにくい環境づくりに効果があることから、県警では、わかりやすい説明による普及・促進に努めていきます。

<水野ゆうきの要望！> 県内一部の自治体では、迷惑電話対策機器の無償貸与や購入費の助成による防犯対策の拡充を図っている。今後、県としてもこれらの対策機器の導入に対する支援事業、警告・通話録音機能付き電話を購入する際の助成等仕組みの検討など、電話de詐欺撲滅に向けた取り組みを推進するよう要望する。

千葉県における平成29年の**電話de詐欺被害は1,517件と過去最悪となり、被害総額約31億916万円**と非常に高額。手口も巧妙化し、被害者の多くは高齢者、そして女性。平成28年と平成29年の地区別特殊詐欺認知件数を比較すると、東葛地区が伸びており、特に**我孫子市においては、今年に入ってから昨年の約3倍という被害伸び率で、その増加率は県内でもトップクラス**と大変深刻な状況です。

がんの終末期医療について

《病気で長期にわたる治療が必要になった場合》

- 入院治療を希望すると回答した方 …… 34.2%
 - 在宅医療を希望すると回答した方 …… 34.4%
 - わからないと回答した方 …… 31.4%
- #### 《自分が最期を迎えたい場所》
- 医療機関への入院を希望すると回答した方 …… 14.1%
 - 自宅や老人ホームなどの居住の場を希望すると回答した方 …… **27.4%**
 - 居住の場や施設等で療養して病状が悪化したら医療機関への入院を希望すると回答した方 …… **19.7%**

(県がインターネットで実施した平成29年度医療に関する県民意識調査)

実に**47.1%**と約半数の千葉県民ができるだけ居住の場での療養を望んでいるが、厚生労働省の平成28年度人口動態調査によると、実際に**最期を迎える場所の74%が病院**となっており、県民の希望と現実には大きなギャップがある。

<水野ゆうきの主張！> 我が国では2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんて亡くなっているが、在宅で患者が望むようながん治療を行うことができる在宅医不足や地域間格差など、本県における在宅緩和ケアの提供体制に課題がある。自分らしい暮らしを人生の最後まで望む県民の意思に応えていくためにも、尊厳保持という観点からも、がん患者の在宅医療に対する地域の支援体制を整えていくことは非常に重要。がん患者の看取りができる担い手を増やす必要がある。

水野ゆうき 千葉県議会議員 (会派「千翔会」幹事長、総務防災常任委員会委員)
◎千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期同盟顧問、松戸健康福祉センター運営協議会委員、我孫子市防犯指導員、我孫子ライオンズクラブ幹事等

経歴 1983年2月19日生の35歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流社入社(秘書部秘書課秘書グループにて6名の役員秘書担当)。民放テレビ局勤務(報道局経済部所属・BSフジLIVE『PRIME NEWS』担当)。2011年我孫子市議会議員選挙3位当選。市議時代に我孫子市のPR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。2015年千葉県議会議員選挙当選。

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ(<http://www.mizunoyuuki.com/>)、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフがご連絡させていただきます。

『我孫子ゆうき部』部員大募集！ (水野ゆうき後援会)